

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

発信時刻 14 時 25 分

様式9-1

第25条報告

送信枚数 (1 / 1)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第25188報)

2023年11月27日

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 田南 達也

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分 (24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)(注3)	(対応日時, 対応の概要) 第25188報でお知らせしたとおり、1号機原子炉格納容器閉じ込め機能強化に向けた試験(ステップ3)に伴い、特定原子炉施設に係る実施計画「Ⅲ 特定原子炉施設の保安」(以下、「実施計画」という。)第1編第25条で定めている運転上の制限「窒素ガス分離装置1台が運転中であること」、および第1編第18条で定めている運転上の制限「格納容器内温度が全体的に著しい温度上昇傾向がないこと」に対し、特定原子炉施設に係る実施計画第1編第32条(保全作業を実施する場合)第1項を、本日13時39分より適用しました。 また、試験(ステップ3)に伴い、本日13時54分1号機窒素封入量を以下のとおり変更しました。 <1号機窒素封入量> 窒素封入量 32Nm ³ /h→0Nm ³ /h 関連パラメータについては、異常のないことを確認しました。 引き続き、慎重に監視してまいります。 【公表区分:E】 ※添付の有り(無) (注4)
その他の事項の対応(注5)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した特定事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 当該原子力事業所所在市町村において震度6弱以上の地震が発生した場合, また震度によらず警戒事態該当事象または特定事象の発生に関連していると思われる地震が発生した場合は, その発生日時, 観測用地震計の加速度gal数(水平方向, 鉛直方向)を記入する。

(注4) 新たに警戒事態該当事象または特定事象が発生した場合は, 本様式に加えて様式9-1添付を用いて報告する。なお, 様式9-1添付を用いた報告は当該事象が非該当となるまで継続して行う。

(注5) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

発信時刻 15時20分

様式9-1

第25条報告

送信枚数 (1 / 1)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第25189報)

2023年11月27日

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 田南 達也

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分 (24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要 (注2) (注3)	(対応日時, 対応の概要) 3号機の原子炉注水設備においては、原子炉格納容器の水位の安定化のため、原子炉注水量を $3.8\text{m}^3/\text{h}$ まで微調整の範囲で増加させ傾向を監視してまいりました。 その後、水位が目標の水位に比べ低めで安定傾向となっていることから水位を増加させるため、原子炉への注水量を以下のとおり変更します。 <原子炉注水変更> 原子炉注水量 : $3.8\text{m}^3/\text{h} \rightarrow 4.0\text{m}^3/\text{h}$ 今後も、水位の傾向を見ながら微調整のための流量調整を以下の範囲内で行います。 ($4.0\text{m}^3/\text{h} \pm 0.3\text{m}^3/\text{h}$ 程度) 流量調整を実施した際には、実施の都度、流量調整の実績をお知らせします。 引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視してまいります。 【公表区分: E】 ※添付の有リ・ 無 (注4)
その他の事項の対応 (注5)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した特定事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 当該原子力事業所所在市町村において震度6弱以上の地震が発生した場合, また震度によらず警戒事態該当事象または特定事象の発生に関連していると思われる地震が発生した場合は, その発生日時, 観測用地震計の加速度gal数(水平方向, 鉛直方向)を記入する。

(注4) 新たに警戒事態該当事象または特定事象が発生した場合は, 本様式に加えて様式9-1添付を用いて報告する。なお, 様式9-1添付を用いた報告は当該事象が非該当となるまで継続して行う。

(注5) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

発信時刻 15 時 20 分

様式9-1

第25条報告

送信枚数 (1 / 9)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第25190報)

2023年11月27日

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 田南 達也

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分 (24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)(注3)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記のとおりお知らせいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [11月27日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 11月26日] ・構内排水路 分析結果 [採取日 11月26日] ・海水分析結果<港湾内> [採取日 10月16日、11月26日] ・海水分析結果<発電所から3km以内> [採取日 11月26日] <p>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</p> <p>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</p> <p>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</p> <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクEの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、11月28日に排水を実施します。</p> <p>排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 11月23日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有^り・無し (注4)</p>
その他の事項の対応(注5)	なし

(2/9)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した特定事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 当該原子力事業所所在市町村において震度6弱以上の地震が発生した場合、また震度によらず警戒事態該当事象または特定事象の発生に関連していると思われる地震が発生した場合は、その発生日時、観測用地震計の加速度 gal 数（水平方向、鉛直方向）を記入する。

(注4) 新たに警戒事態該当事象または特定事象が発生した場合は、本様式に加えて様式9-1添付を用いて報告する。なお、様式9-1添付を用いた報告は当該事象が非該当となるまで継続して行う。

(注5) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ
2023年11月27日 11:00現在

2023年11月27日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系： 2.6 m ³ /h CS系： 1.2 m ³ /h	給水系： 0.0 m ³ /h CS系： 1.5 m ³ /h	給水系： 1.7 m ³ /h CS系： 2.0 m ³ /h	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)： 23.2 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)： 19.1 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)： 22.3 °C	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)： 32.4 °C RPV温度 (TE-2-3-69R)： 32.6 °C	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)： 26.5 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)： 26.5 °C	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)： 22.7 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)： 22.6 °C	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)： 32.7 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH-12-16B (TE-16-114G#1)： 32.7 °C	PCV温度 (TE-16-002)： 24.6 °C 格納容器空調供給空気温度 (TE-16-114F#1)： 26.0 °C	
原子炉格納容器 圧力	0.25 kPa g	2.06 kPa g	0.52 kPa g	
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH-A)： - Nm ³ /h (RVH-B)： 16.00 Nm ³ /h (JP-A)： 13.65 Nm ³ /h (JP-B)： - Nm ³ /h PCV： - Nm ³ /h	RPV-A： 6.20 Nm ³ /h RPV-B： 6.12 Nm ³ /h PCV： - Nm ³ /h ※4	RPV-A： 7.42 Nm ³ /h RPV-B： 7.60 Nm ³ /h PCV： - Nm ³ /h ※4	
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	21.2 m ³ /h	18.73 Nm ³ /h	20.78 Nm ³ /h	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系： 0.00 vol% B系： 0.00 vol%	A系： 0.04 vol% B系： 0.02 vol%	A系： 0.13 vol% B系： 0.12 vol%	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系： 指示値 1.66E-03 Ba/cuif 検出限界値 4.82E-04 B系： 指示値 1.46E-03 検出限界値 3.31E-04	A系： 指示値 ND 検出限界値 1.2E-01 B系： 指示値 ND 検出限界値 1.2E-01	A系： 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 B系： 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01	
使用済燃料プールの 水温度	- °C	19.3 °C	- °C	※5
FPC 片側-1' 羽 水粒	- m	4.26 m	3.15 m	389 X100mm

【注】欄に示す単位は、()内を省略して記入すること。 ()内を省略して記入した場合は、0.1H以内の誤差を認めるものと見做す。

※1： 放射能濃度は、原子炉格納容器内の放射能濃度を指す。

※2： 放射能濃度は、原子炉格納容器内の放射能濃度を指す。

※3： 窒素封入流量は、圧力調整用窒素供給システムの供給流量を指す。

※4： 全系統の排気流量を指す。

※5： 放射能濃度は、原子炉格納容器内の放射能濃度を指す。

※6： 放射能濃度は、原子炉格納容器内の放射能濃度を指す。

※7： 片側1'羽の水粒

【取組事項】

各機器について、地震やその他の事故起因の影響を受けて、通常の運用環境条件下で想定しているよりも劣り、正しく測定されていない可能性のある計測器も存在している。プラントの稼働に支障をきたすことのないよう、このよう設計図の不備がきも考慮したうえで、計測器からの得られる情報を活用して変換の線形にも留意して修正に取組んでいる。

2023年11月27日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2023/11/26 06:45	< 4.5E+00	< 5.5E+00	< 3.7E+00
プロセス主建屋北東	2023/11/26 06:57	< 4.4E+00	< 4.9E+00	< 4.3E+00
プロセス主建屋南東	2023/11/26 07:03	< 4.9E+00	< 4.2E+00	< 4.3E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2023/11/26 07:13	< 5.2E+00	< 4.2E+00	< 4.3E+00
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
焼却工建屋西側	2023/11/26 07:18	< 5.0E+00	< 4.9E+00	3.4E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2023/11/26 06:51	< 4.3E+00	< 5.0E+00	< 5.2E+00
サイトバンカ建屋南東	2023/11/26 07:08	< 3.5E+00	< 5.4E+00	< 5.2E+00

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・ $0.0E\pm 0$ とは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

2023年11月27日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2023/11/26 07:28	1.0E+01	< 4.6E-01	5.0E+00
物揚場排水路	2023/11/26 07:32	< 2.9E+00	< 3.8E-01	9.2E-01
K排水路	2023/11/26 06:00	5.4E+00	< 4.0E-01	4.6E+00
BC排水路	2023/11/26 06:00	< 2.9E+00	< 6.3E-01	< 5.7E-01
D排水路	2023/11/26 07:25	< 2.9E+00	< 4.5E-01	< 4.9E-01
5,6号機排水路 ^{※1}	—	—	—	—

・不等号 (<:小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.OE±Oとは、O.O×10^{±O}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・採取当日の降雨量は0 mm

・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。

※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

2023年11月27日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果〈港湾内〉(全β・H-3・Sr・γ)

試料名称	採取日時	分析項目				
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 物揚場前	2023/10/16 07:45	< 1.2E+01	2.2E+00	2.2E-02	< 3.1E-01	3.8E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東渡津堤北側)	2023/10/16 07:35	< 1.2E+01	6.6E+00	3.4E-01	< 3.3E-01	4.1E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (海水壁前)	2023/10/16 07:05	1.7E+01	3.3E+01	1.8E+00	< 3.3E-01	1.9E+01
1F 港湾口	2023/10/16 06:59	< 1.3E+01	1.4E+00	1.4E-02	< 3.4E-01	4.1E-01
1F 港湾中央	2023/10/16 06:50	1.4E+01	2.4E+00	< 1.2E-01	< 3.0E-01	3.6E-01
1F 港湾内北側	2023/10/16 06:45	< 1.4E+01	2.1E+00	4.0E-02	< 3.0E-01	< 3.7E-01
WHOの飲料水質ガイドライン※1			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	1.0E+01

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
 ・O.E±Oとは、O.O×10^{±0}であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
 ・Sr-90以外は既にお知らせ済み。
 ※1 WHOの飲料水質ガイドラインにおける、H-3, Sr-90, Cs-134, Cs-137の指標
 ・分析結果の詳細については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

2023年11月27日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5号機取水口前	2023/11/26 07:38	1.3E+01	< 3.4E-01	4.1E-01
1F 物揚場前	2023/11/26 07:20	1.3E+01	< 3.3E-01	3.6E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2023/11/26 07:15	1.4E+01	< 3.4E-01	1.3E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (遮水壁前)	2023/11/26 06:37	1.4E+01	< 3.0E-01	3.5E+00
1F 港湾口	2023/11/26 06:39	< 1.4E+01	< 3.2E-01	< 3.5E-01
1F 港湾中央	2023/11/26 06:30	< 1.4E+01	< 3.1E-01	6.8E-01
1F 港湾内東側	2023/11/26 06:33	< 1.3E+01	< 3.4E-01	< 3.0E-01
1F 港湾内西側	2023/11/26 06:28	< 1.3E+01	< 3.7E-01	< 3.7E-01
1F 港湾内北側	2023/11/26 06:25	< 1.3E+01	< 3.2E-01	< 2.9E-01
1F 港湾内南側	2023/11/26 06:36	1.4E+01	< 3.3E-01	< 2.7E-01
WHOの飲料水水質ガイドライン*1			1.0E+01	1.0E+01

- ・不等号 (< : 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。
- ・(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
- ・物揚場前は、シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。

*1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける、Cs-134、Cs-137の指標

- ・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

(8/9)

2023年11月27日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<発電所から3km以内> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2023/11/26 06:46	—	< 6.1E-01	< 5.7E-01
1F 南放水口付近 (T-2)	2023/11/26 06:27	1.2E+01	< 9.7E-01	< 5.4E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
1F 敷地北側沖合1.5km (T-A1)	—	—	—	—
1F 敷地沖合1.5km (T-A2)	—	—	—	—
1F 敷地南側沖合1.5km (T-A3)	—	—	—	—
WHOの飲料水水質ガイドライン*1			1.0E+01	1.0E+01

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・ $\text{〇.〇E}\pm\text{〇}$ とは、 $\text{〇.〇}\times 10^{\pm\text{〇}}$ であることを意味する。

(例) $3.1\text{E}+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1\text{E}+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1\text{E}-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

※1: WHOの飲料水水質ガイドラインにおける、Cs-134、Cs-137の指標

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

2023年11月27日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m ³)	分析機関	分析項目				
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他 γ核種
一時貯水タンク (サンプリング)	E 2023/11/23 07:22	950	東京電力	< 1.8E+00	6.1E+02	< 7.5E-01	< 7.2E-01	検出なし
			東北緑化環境保全(株)	< 3.5E-01	6.6E+02	< 6.5E-01	< 6.4E-01	検出なし
運用目標				3.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	検出されないこと※2
告示濃度限度※3				/	6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01	/
WHO飲料水水质ガイドライン				/	1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	/

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134,Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

発信時刻 17 時 00 分

様式 9-1

第 25 条 報告

送信枚数 (1 / 1)

応急措置の概要 (原子炉施設) (第 25191 報)

<p style="text-align: right;">2023 年 11 月 27 日</p> <p>内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿</p>	
<p>第 25 条 報告</p>	<p>報告者名 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 原子力防災管理者 田南 達也</p> <p>連絡先 0240-30-9301</p>
<p>原子力災害対策特別措置法第 25 条第 2 項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。</p>	
原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原 2 2
特定事象の発生箇所 (注 1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注 1)	2011 年 (平成 23 年) 3 月 11 日 16 時 36 分 (24 時間表示)
特定事象の種類 (注 1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第 6 条第 4 項第 4 号, 省令第 21 条第 1 項ロ)
発生事象と対応の概要 (注 2) (注 3)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第 25186 報でお知らせしたとおり, 地下水バイパス一時貯留タンクグループ 1 に貯水していた水について, 本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水開始 : 10 時 09 分 ・排水終了 : 16 時 19 分 ・排水量 : 1,687 m³ <p>排水状況については, 漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分: E】</p>
	※添付の有リ・無し (注 4)
その他の事項の対応 (注 5)	なし

備考 この用紙の大きさは, 日本産業規格 A4 とする。

(注 1) 最初に発生した特定事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注 2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注 3) 当該原子力事業所所在市町村において震度 6 弱以上の地震が発生した場合, また震度によらず警戒事態該当事象または特定事象の発生に関連していると思われる地震が発生した場合は, その発生日時, 観測用地震計の加速度 gal 数 (水平方向, 鉛直方向) を記入する。

(注 4) 新たに警戒事態該当事象または特定事象が発生した場合は, 本様式に加えて様式 9-1 添付を用いて報告する。なお, 様式 9-1 添付を用いた報告は当該事象が非該当となるまで継続して行う。

(注 5) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

発信時刻

17時35分

様式9-1

第25条報告

送信枚数 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第25192報)

2023年11月27日

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 田南 達也

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分 (24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)(注3)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第25183報他でお知らせしたとおり, 1号機原子炉格納容器閉じ込め機能強化に向けた試験(ステップ3)を実施しておりましたが, 原子炉格納容器ガス管理設備酸素濃度が判断基準の3.0%に到達する見込みであることおよび必要なデータが採取できたことから, 本日16時34分, 1号機窒素封入量を以下のとおり変更しました。</p> <p><1号機窒素封入> 窒素封入量 0Nm³/h → 32Nm³/h</p> <p>1号機への窒素封入が再開されたことから, 特定原子力施設に係る実施計画「Ⅲ 特定原子炉施設の保安」(以下、「実施計画」という。)第1編第25条で定めている運転上の制限「窒素ガス分離装置1台が運転中であること」に対する, 特定原子力施設に係る実施計画第1編第32条(保全作業を実施する場合)第1項の適用を, 本日16時45分に解除しました。</p> <p>関連パラメータについては, 異常のないことを確認しました。 引き続き, 慎重に監視してまいります。</p> <p>【公表区分:E】</p> <p>※添付の有り・無し (注4)</p>
その他の事項の対応(注5)	なし

備考 この用紙の大きさは, 日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した特定事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 当該原子力事業所所在市町村において震度6弱以上の地震が発生した場合, また震度によらず警戒事態該当事象または特定事象の発生に関連していると思われる地震が発生した場合は, その発生日時, 観測用地震計の加速度gal数(水平方向, 鉛直方向)を記入する。

(2/2)

(注4) 新たに警戒事態該当事象または特定事象が発生した場合は、本様式に加えて様式9-1添付を用いて報告する。なお、様式9-1添付を用いた報告は当該事象が非該当となるまで継続して行う。

(注5) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。